

令和5年度（2023年度）

事業報告

令和5年（2023年）4月1日～令和6年（2024年）3月31日

公益財団法人庭野平和財団

[事業活動]

(公益目的事業 1)

I. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する事業

宗教的精神にもとづく平和のための活動を推進する宗教組織および市民組織を次の事業で支援し、その活動の質的向上とその活性化を図る。

1. 宗教的精神にもとづく平和のための活動に関する社会調査・資料収集事業

宗教組織および市民組織が行う平和のための活動に関する社会調査・資料収集を行い、その結果を公表する。主たる目的は、それぞれの組織関係者の意識向上をはかることで、それぞれの組織活動の質的向上を目指し、宗教的精神にもとづく平和のための活動に資する。

(1) 社会調査

今後実施する社会調査の準備として、石井研士氏（國學院大學教授）の協力をいただき、「若者の宗教性はどう涵養されるのか、されないのか。どこで、誰に。」を共通の問題意識として、宗教社会学の専門家による相互討論形式の研究会（2時間）を、オンライン（Zoom ミーティング）で2回（令和5年9月25日、10月30日）実施した。

(2) 情報・資料収集

被助成事業の進捗や成果等を実地に知るため、採択された団体の行う事業等に参加した。

区分	月日	団体/事業	場所
NPFプログラム	4. 20、5. 25、6. 27、 7. 21、7. 25、8. 1、 8. 16、8. 30、10. 24、 11. 30、12. 10、 12. 26、2. 26	コモンズの共有資産として活用する「寺院所有アセット」モデルPJチーム/コモンズの共有資産として活用する「寺院所有アセット」モデルPJ	オンライン他
NPFプログラム	8. 16、R6. 1. 21	「台湾有事」を起こさせない・沖縄対話プロジェクト/沖縄対話プロジェクト・沖縄台湾対話シンポジウム	オンライン

2. 普及啓発事業

公益目的事業（社会調査・資料収集事業、庭野平和賞の事業及び助成事業）の成果を、宗教組織および市民組織の関係者を主たる対象に、セミナー、シンポジウムの開催により普及啓発する。そのことにより宗教組織および市民組織の人材の育成、専門知識の取得および組織の活動の充実を目指す。

(1) 庭野平和賞受賞者記者懇談会(京都) — II. 1. (2) の項参照

令和5年5月12日、第40回庭野平和賞受賞者によるスピーチ、京都宗教記者クラブの記者との質疑応答などによる懇談会を開催した。

(2) 映画「カンボジア現代紛争史とNGOの43年」上映会

a. 日 時：令和6年3月28日 午後6時～8時

b. 会 場：音部屋スクエア（東京都新宿区）

- c. 概要：令和4年度NPFプログラムで助成した「カンボジア紛争とNGOの歴史」（学校法人神奈川映像学園日本映画大学の活動プロジェクト）の年度事業成果であるドキュメント映像「カンボジア現代紛争史とNGOの43年」（基礎編）の上映会を行った。1980年代からカンボジア国内での復興協力を目指した日本およびカンボジア双方の当事者が、過酷な状況の中で展開された活動の経験や知見、思い等を語る姿など、制作にあたってあらたに行われたインタビューが収められた映像記録である。カンボジアと日本の取組に焦点を当てたものではあるが、今後の日本の市民社会活動にも広く参考となり得る貴重な映像資料であるとの視点が共有された。NPO関係者や市民など約30名が参加した。

(3) BNN（仏教NGOネットワーク）活動の促進

BNNの活動の促進に貢献するため、企画委員会等に参加し、BNNが主催する『寺院備災ガイドブック』の普及活動や講演会等の開催に協力した。また、BNNニューズレターの企画、編集に協力した。

会議日：令和5年4月11日、10月2日、11月6日

(4) ウェブサイトを利用した情報公開

公益目的事業の内容等の公開につとめた。

（公益目的事業2）

II. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞として、庭野平和賞の贈呈と庭野平和賞奨励賞の贈呈を行う。また、その業績を国内外のメディアを通じて世界的に広報する。

1. 庭野平和賞

(1) 第40回贈呈式・記念講演

a. 日時：令和5年5月11日 午前10時30分～午後1時30分

b. 会場：国際文化会館（東京都港区）

c. 概要：第40回庭野平和賞贈呈、祝辞、受賞者による記念講演、レセプション。

ラジャゴパール P.V. 氏（第40回庭野平和賞受賞者）、財団関係者、宗教関係者、学術経験者、市民活動関係者、マスコミ関係者など約110名が参加した。

(2) 第40回庭野平和賞受賞者を囲む記者懇談会

a. 日時：令和5年5月12日 午後2時～3時30分

b. 会場：京都東急ホテル（京都市下京区）

c. 概要：第40回庭野平和賞受賞者と京都宗教記者クラブ所属記者との懇談会。

ラジャゴパール P.V. 氏（第40回庭野平和賞受賞者）、京都宗教記者クラブ所属の記者など約15名が参加し、受賞者による発題の後、記者との質疑応答を行った。

(3) 庭野平和賞委員会

第 41 回受賞者の選定並びに第 42 回候補者受付及び審査等の実施

A. 日 程：

令和 5 年 5 月 9 日	執行委員会及び指名委員会の開催
令和 5 年 5 月 10 日	年次総会の開催 第 41 回受賞者を選定 その後、調査及び内示の実施
令和 5 年 8 月	第 42 回 一般推薦の推薦状送付
令和 5 年 10 月	第 42 回 一般推薦の締切 第 42 回 庭野平和賞委員会委員への推薦依頼・受付
令和 5 年 12 月	第 42 回 第 1 次選考（～令和 6 年 1 月）
令和 6 年 2 月	第 42 回 第 2 次選考（～3 月） 第 41 回 受賞者公式発表（京都、バチカン）

B. 第 41 回受賞者の選定

令和 5 年 5 月 10 日に開催された庭野平和賞委員会において、米国の「平和と正義のためのサラーム研究所」創業者でありアメリカン大学国際学部教授であるモハメド・アブニマー博士を、第 41 回庭野平和賞受賞者に選定した。受諾の意思を確認後、令和 6 年 2 月 27 日、京都において記者会見を開き、受賞者の公式発表を行った。

C. 庭野平和賞委員会委員（敬称略）

フラミア・ジョバネッリ（委員長）、ムハンマド・シャフィーク、ノクゾラ・ムンデンデ、ソンプーン・チュングプランプリー、アブラハム・スコルカ、ムニブ・ユナン、アルズー・アフメッド、ケゼヴィノ・アラム、庭野日鏡

(4) 関連行事

- 令和 5 年 5 月 13 日 第 40 回庭野平和賞受賞者と当財団の庭野浩士理事長の対談
- 令和 5 年 5 月 13 日 第 40 回庭野平和賞受賞者の立正校成会（東京都杉並区）訪問

2. 庭野平和賞奨励賞

(1) 庭野平和賞奨励賞委員会

第 2 回庭野平和賞奨励賞受賞者の選定

A. 日 程：

令和 5 年 7 月	推薦依頼と受付（～9 月）
令和 5 年 10 月	第 1 次選考
令和 5 年 11 月 8 日	第 2 次選考
令和 5 年 12 月 4 日	庭野平和賞奨励賞委員会の開催 第 2 回受賞者を選定 その後、内示の実施
令和 6 年 3 月	第 2 回受賞者を発表（財団ウェブサイト）

B. 第 2 回受賞者の選定

令和 5 年 12 月 4 日に開催された庭野平和賞奨励賞委員会において、第 2 回庭野平和賞奨励賞受賞者に、環境平和活動家であるミンゾー氏（ミャンマー）と一般社団法人在日ベトナム

ム仏教信者会会長であり大恩寺(ベトナム寺院)住職でもあるティック・タム・チー師(ベトナム国籍/日本在住)の2名を選定した。受諾の意思を確認後、令和6年3月に財団ウェブサイトで発表した。

C. 庭野平和賞奨励賞委員会委員(敬称略)

浅見靖仁(委員長)、小林久美子、目加田説子、岩附由香、枝木美香、工藤律子、ウスビ・サコ、ソンブーン・チュングプランプリー

(2) 第2回庭野平和賞奨励賞の贈呈

受賞者を訪問し、賞を庭野理事長から贈呈した。

- ・令和6年3月18日 ミンゾー氏(バンコク/タイ 情勢を鑑み隣国にて)
- ・令和6年3月29日 ティック・タム・チー師(東京)

(公益目的事業3)

III. 宗教的精神にもとづく平和のための活動及び研究に対する助成

人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進を目指した宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究へ資金助成を行う。

1. 公募による助成

(1) 実施概要

募集期間： 令和5年11月28日～12月28日
選考委員会： 令和6年3月11日
応募件数： 17件
助成件数： 8件
助成総額： 7,532,956円
助成期間： 令和6年4月から1年間

※令和4年度公募助成の海外の助成先への助成金(7件、計5,812,515円)は、令和5年4月に送金されたので、令和5年度の支払助成金に合算されている。

(2) 公募助成小委員会(敬称略)

茅野俊幸(委員長)、下澤嶽、工藤律子、牧田東一、内山義英、秀島くみこ

(3) 助成先の決定

公募助成小委員会(選考委員会)で審査し選考した助成先を、理事長の決裁で決定した。

2. 非公募による助成(NPFプログラム)

助成総額 24,401,500円

(1) 年度計画当初の助成・・・助成額合計 19,901,500円(8件)

- A. バングラデシュ国ノンフォーマル教育支援の持続化、トランスフォーメーション促進事業(フェーズ2)
 - a. 団体名：特定非営利活動法人 アジアキリスト教教育基金(ACEF)
 - b. 助成額：3,000,000円
- B. こども基本法成立を受け、日本の子どもの権利を包括的に保障するためのアドボカシー

及び啓発・広報活動

- a. 団体名：認定NPO法人 ACE
 - b. 助成額：1,000,000円
 - C. 市民交流による東北アジアの平和構築事業
 - a. 団体名：KOREA こどもキャンペーン
 - b. 助成額：2,210,000円
 - D. 平和構築のための日韓ユースフォーラム
 - a. 団体名：日韓和解と平和プラットフォーム（日本キリスト教協議会）
 - b. 助成額：2,800,000円
 - E. 平和にユナイト！パキスタンにおける青少年の地域平和活動とアフガニスタンとの連帯（第2期2年度目）
 - a. 団体名：一般社団法人 平和村ユナイテッド
 - b. 助成額：2,500,000円
 - F. NPOをはじめとする社会課題に取り組む団体におけるハラスメントの相談対応窓口設立に向けたプロジェクト
 - a. 団体名：特定非営利活動法人 mia forza
 - b. 助成額：2,400,000円
 - G. みんなの市民サミット2023
 - a. 団体名：特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター
 - b. 助成額：3,000,000円
 - H. 有機農業の実践と青少年への環境教育による持続的な地域づくり
 - a. 団体名：特定非営利活動法人 Seed to Table
 - b. 助成額：2,991,500円
- (2) 年度内に採択された助成（臨時助成）・・・助成額合計 4,500,000円（3件）
- A. コモンズの共有資産として活用する「寺院所有アセット」モデル
 - a. 団体名：コモンズの共有資産として活用する「寺院所有アセット」モデルPJ
 - b. 助成額：2,000,000円
 - B. 課題解決の先へ。HAPIC(ハピック)ー
 - a. 団体名：特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター（JANIC）
 - b. 助成額：500,000円
 - C. 第8回9条世界宗教者会議
 - a. 9条世界宗教者会議
 - b. 助成額：2,000,000円
- (3) NPFプログラム助成小委員会（敬称略）
川北秀人（委員長）、浅見靖仁、熊岡路矢、米倉雪子、野口陽一
委員会開催日：令和5年7月5日、11月10日、令和6年2月2日
- (4) 助成先の決定
年度計画当初の助成先は、NPFプログラム助成小委員会において予め審査された助成案件を理事会で審議して決定した。年度内の採択（臨時助成）については、年度計画当初の助成

が決定された後に申請された、活動が1年未満で終了する短期的な案件をNPFプログラム助成小委員会で審査し、その後、理事長による決裁で助成先を決定した。

3. 指定寄付による助成

本年度は、この助成に該当する他団体からの財源の提供がないため実施しなかった。

4. 助成委員会の開催

各助成小委員会の委員長から、助成事業の方針や運営などについて意見を伺った。

[法人運営]

I. 総務

1. 法務に関する業務

(1) 内閣府との連絡、交渉及び法務局への登記事務他

令和5年6月21日 令和4年度事業報告等の提出(内閣府／電子申請)

令和6年3月28日 令和6年度事業計画書等の提出(内閣府／電子申請)

2. 会議に関する業務

(1) 理事会、評議員会の開催

令和5年5月24日

・第41回理事会

審議事項：令和4年度事業報告及び附属明細書の承認の件、令和4年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件、第28回評議員会の開催の件

報告事項：令和5年度事業の進捗状況・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和4年度の寄附受領について

令和5年6月13日

・第28回評議員会

審議事項：令和4年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件

報告事項：令和4年度事業報告及び附属明細書について、第41回理事会について、令和5年度事業の進捗状況・理事長及び専務理事の職務執行状況について

令和6年2月21日

・第42回理事会

審議事項：令和6年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認の件、令和6年度資産管理運用基本方針の承認の件、令和6年度役員賠償責任保険加入の承認の件、第29回評議員会の開催の件

報告事項：令和5年度事業の経過報告・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和5年度収支決算見込みについて

令和6年3月27日

・第29回評議員会

審議事項：評議員の選任の件

報告事項：第42回理事会について、令和5年度事業の経過報告・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和5年度収支決算見込みについて、令和6年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

(2) 月例ミーティング

当財団業務の推進にあたり理事長への報告・調整・打ち合わせ等を実施

実施状況：令和5年4月24日、5月26日、6月30日、7月26日、8月30日、9月29日、10月30日、11月20日、12月25日、令和6年1月26日、2月29日、3月29日

(3) 諸会議の開催・運営

3. 監査に関する業務

(1) 監査のための諸資料の準備

(2) 監査の実施

実施日：令和5年5月18日

場 所：当財団会議室

内 容：令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）の会計監査及び業務監査

4. 文書管理に関する業務

(1) 各種文書の作成、提出、管理及び保管他

5. 庶務に関する業務

(1) 什器備品、不動産、印刷物、公印等の管理他

(2) その他の部門にも属さない事項の処理他

II. 財務

1. 資産運用及び管理に関する業務

(1) 債券等の運用

- A. 令和5年6月20日、金銭信託「合同運用指定金銭信託 CRESCENDO <三菱UFJ信託銀行>」（満期12か月、予定配当利率0.15%、3億円）を購入した。

2. 経理、会計、記帳計算に関する業務

- ・現金、通帳の管理（外貨含む）
- ・随時、送金手配（海外送金含む）
- ・日々の伝票記帳、毎月の伝票、月次決算書の作成、確認
- ・源泉徴収税の納付
- ・法定調書の作成
- ・仮払金の管理
- ・寄附金の受付
- ・国税、地方税への対応

III. 労務

1. 事務局人員構成（令和6年3月31日現在）

常勤	庭野 浩士	理事長
	廣中 誠司	専務理事・事務局長
	仲野 省吾	助成・庭野平和賞奨励賞・Web 担当
	工藤 夏紀	庭野平和賞担当
	廣井 由紀子	研究/啓発・総務・経理担当
	平野 愛奈	庭野平和賞・Web 担当

2. 人事及び福利厚生に関する業務

- ・ 勤怠管理及び出勤簿、勤怠月報の管理
- ・ 社会保険業務
- ・ 安全衛生及び福利厚生他

以 上

附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年6月

公益財団法人庭野平和財団